

令和3年度
大洲市の決算

目 次

○一般会計の歳入	・ ・ ・ ・ ・	P 1
○一般会計の歳出	・ ・ ・ ・ ・	P 2
○大洲市の特別会計	・ ・ ・ ・ ・	P 9
○大洲市の企業会計	・ ・ ・ ・ ・	P 11

会計の種類

○一般会計

地方公共団体の行政運営の基本的な会計です。

福祉・教育・土木などに要する経費を市税などを主な財源として経理する会計です。

○特別会計

特定の事業を行う場合に特定の歳入を特定の支出に充てて経理する会計です。

本市では国民健康保険、介護保険などがあります。

○企業会計

市の一般会計と切り離され、独立採算制による特定の事業を経理する会計です。

本市では水道事業や病院事業などがあります。

一般会計の歳入

歳入総額 358億6,292万円

種類	金額	割合
地方交付税	109億5,148万円	30.5%
国庫支出金	70億1,621万円	19.6%
市債	49億6,850万円	13.9%
市税	44億2,633万円	12.3%
繰越金	27億1,237万円	7.6%
県支出金	17億8,433万円	5.0%
その他	40億0,370万円	11.1%

【用語解説】

地方交付税	どの地域に住む人でも一定水準のサービスを受けることができるよう国から交付されるお金 国税6税(所得税、酒税、法人税、消費税、たばこ税、地方法人税)が原資となっています。
国庫支出金	道路や建物の整備などに必要なお金の一部として国から受け入れたお金
市債	市が借り入れたお金
市税	みなさんから市に納められたお金

市税の内訳

項目	金額	割合
固定資産税	20億8,459万円	47.1%
市民税	18億3,728万円	41.5%
たばこ税	3億1,494万円	7.1%
軽自動車税	1億8,847万円	4.3%
入湯税	105万円	0%

一般会計の歳出

歳出総額 319億0,342万円

目的別

目的	金額	割合
民生費	92億4,849万円	29.0%
総務費	57億1,042万円	17.9%
土木費	34億3,066万円	10.7%
公債費	30億5,589万円	9.6%
教育費	26億7,045万円	8.4%
衛生費	25億7,697万円	8.1%
商工費	16億9,518万円	5.3%
その他	35億1,536万円	11.0%

性質別

性質	金額	割合
普通建設事業費	67億3,756万円	21.1%
扶助費	50億1,292万円	15.7%
人件費	48億2,772万円	15.1%
補助費等	42億0,572万円	13.2%
物件費	36億1,449万円	11.3%
繰出金	22億4,969万円	7.1%
その他	52億5,532万円	16.5%

普通建設事業費	道路や公園などの公共施設を建設するために使ったお金
扶助費	児童手当や、重度心身障害者・子どもの医療費などに使ったお金
補助費等	各種団体への補助金や組合への負担金に使ったお金
物件費	消耗品や旅費、公共施設の運営などに使ったお金

一般会計の歳出 目的別

議会費

予算額 2億0,327万円
決算額 1億8,546万円

執行率 91.2%

総務費

予算額 65億3,053万円
決算額 57億1,042万円

執行率 87.4%

例えばこんなことに…

DX推進計画の策定

デジタル技術を活用して、市民一人一人が笑顔で自分らしく生きられる共生社会の実現と、地域の強みや、ヒト・モノ等をつなぎ、本市の未来を切り拓いていくため新たな価値を創造していくことを目指しています。様々な分野において、地域が一丸となった誰一人取り残されないDXの推進に取り組むため、令和4年度を初年度とする「大洲市デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」を新たに作成しました。

移住・定住の促進

空き家の利活用を促進する空き家バンク制度をはじめ、移住者や子育て世帯、新規就業者、新婚世帯に対して総合的な助成制度を充実させ、移住・定住の促進を図りました。

地域内交通の整備・見直し

地域公共交通網形成計画に基づき、交通空白地等から直近の交通結節点までの交通手段の整備・見直しを進め、市民の交通利便性の向上を図りました。

<デマンド型交通>

本格運行：2地区、実証運行等：3地区

<自家用有償旅客運用（定路線）>

1地区

民生費

予算額 103億6,484万円

決算額 92億4,849万円

執行率 89.2%

例えばこんなことに…

保育所や認定こども園の運営

保育が必要な児童が入所し、豊かな人間性を持った子どもの教育・保育に努めるとともに、施設の適正な管理運営を行い、児童福祉の向上を図りました。

保育所・・・9施設

認定こども園・・・4施設

高齢者福祉の充実

高齢者が要介護状態に陥ることなく、住み慣れた地域で継続して生活を送ることができるよう事業を行いました。

衛生費

予算額 31億3,984万円

決算額 25億7,697万円

執行率 82.1%

例えばこんなことに…

ごみの処理

家庭や事業所などから排出されるゴミを分別収集し、適正に処理しました。

<ごみの収集量>

・燃やすごみ	6,474.42トン
・燃やさないごみ	356.59トン
・資源ごみ（缶・びん）	300.40トン
・資源ごみ（ペットボトル・発泡スチロール容器）	71.93トン
・資源ごみ（古紙類・古着・紙パック）	462.58トン
・有害ごみ（廃乾電池など）	10.14トン
・粗大ごみ	17.41トン

労働費

予算額 7,000万円
決算額 7,000万円

執行率100.0%

農林水産業費

予算額 14億6,351万円
決算額 11億4,732万円

執行率 78.4%

例えばこんなことに…

森林経営管理事業

令和元年度に設置した「大洲市森林経営管理事業等検討委員会」で策定された「大洲市森林経営管理事業等実施計画」に基づき、森林環境譲与税等を活用して森林整備、担い手対策、林業振興の各種事業を実施しました。

中山間地域等直接支払推進事業

中山間地域における農業生産条件の不利性を直接支払いで補正することにより、適正な農業生産活動等を通じた耕作放棄地の発生防止と多面的機能の維持増進を図りました。

<対象集落数> 大洲地域 27集落、長浜地域 8集落、肱川地域 11集落、
河辺地域 10集落 合計56集落
<交付金総額> 53,746,694円

多面的機能支払事業

農地・水・農村環境の保全向上を目的として、農地・水路等の保全管理、農村の生態系の保全などの取組みを地域共同活動により実施しました。

<実施内容> 農地維持支払（13組織）、資源向上支払/共同組織（4組織）
資源向上支払/長寿命化（2組織） など

水産事業

愛媛県が管理する長浜港の小型船だまりに市が整備を計画している漁業関連施設について、荷捌所の新築工事などを実施しました。

商工費

予算額 18億8,814万円

決算額 16億9518万円

執行率 89.8%

例えばこんなことに…

企業の経営・創業・事業承継支援

大洲市中小企業者・小規模事業者振興基本条例に基づき、市内で事業を営む中小事業者及び市内で新たに操業する者の事業活動に要する経費に対して補助金を交付しました。

大洲ブランドの創出 ～大洲ええもんセレクションブランド戦略支援事業～

認定品の価値の向上や販路開拓を目指し、個別指導や販売・商談会の機会提供、情報発信等を行い、流通拡大に繋げることで大洲ブランドの信頼性と認知度を高めるとともに、地域活性化と市のイメージアップを図りました。

さらに、認定商品の中でも認定事業者が自ら取り組む事業を支援し、大洲ブランドの向上と事業者の継続的な経営を支援しました。

町家等活用改修事業

大洲市観光まちづくり町家活用エリアにおける町家・古民家等の歴史的資源の維持を図るとともに地域経済の活性化及び地域の成長発展の基盤強化を目的に、町家・古民家等の活用に向けた改修に対して補助を行いました。

3期目となった令和3年度においては、合計で5件6棟に対して保存・活用に係る整備の補助を行いました。

広域連携事業 ～日本三大芋煮事業～

「芋煮・いもたき」が地域の伝統料理であることを島根県津和野町、山形県中山町、大洲市の3市町が連携し、効果的・継続性の高い共同事業を実施することで、郷土料理の伝承と産業観光の振興、地域の活性化を図りました。

土木費

予算額 48億3,292万円

決算額 34億3,066万円

執行率 71.0%

例えばこんなことに…

道路の新設・改良

大洲市の市道は総延長1,737km（令和3年度当初）で、国、県の補助事業や起債事業、または市単独事業により、道路の改良や舗装を行い、地域住民の暮らしの利便性の向上を図りました。

- ・辺地対策事業 120,871千円
- ・過疎対策事業 113,645千円
- ・市単独事業 37,740千円

住民の要望に応え、地域経済活動の根幹を支える市道等路面の維持管理に努めました。

- ・維持修繕工事 86,554千円
- ・原材料支給による維持補修 9,030千円

消防費

予算額 17億9,548万円

決算額 16億4,737万円

執行率 91.8%

例えばこんなことに…

防災体制の充実

伊方発電所から30km圏内の広域避難訓練を実施し、災害時における円滑な対応能力の向上を図りました。

消防施設整備

老朽化した消防詰所の建て替え、小型動力ポンプ積載車及び小型動力ポンプの更新を行い、消火活動の効率化を図りました。

- ・詰所建て替え 2箇所 31,415千円
- ・小型動力ポンプ積載車料 3台 16,907千円
- ・小型動力ポンプ 6台 11,286千円

教育費

予算額 28億8,609万円

決算額 26億7,045万円

執行率 92.5%

例えばこんなことに…

廃校施設の利活用

廃校となった小学校や幼稚園施設の利活用を推進するとともに、利活用のない施設等については除去事業に取り組みました。

- ・利活用の状況
ピザ窯、工房、集会施設等
旧柳沢小、旧田処小、旧戒川小、旧櫛生小、旧出海小、旧豊茂小、
旧白滝小、旧予子林小、旧大谷小
- ・除去事業
旧田処小（木造校舎、プール）

一時預かり事業

校区内に公立保育所の存在しない幼稚園において、保護者の希望に応じ、教育時間終了後や長期休業期間中に教育活動を行う「預かり保育」を実施し、子育て支援に取り組みました。

- ・久米幼稚園 利用者 延72人
- ・平野幼稚園 利用者 延59人

教材の整備・充実

教材の整備・充実を行い、授業における教育環境を整え学習効果の向上を図りました。

- ・小学校 8,042千円
- ・中学校 9,225千円

愛媛国際映画祭支援事業

市民に優れた映像作品の鑑賞機会を提供し、文化芸術活動の理解促進を図るとともに、映画を切り口とした交流人口の拡大と地域経済の活性化を図りました。

- ・開催日 11月13日(土) 開催場所 マリエール大洲
内容 「タケカワ ユキヒデ」トーク&ライブ・「銀河鉄道999」の上映
来場者 112人（市内在住者に限定して開催）

その他

予算額 40億0,508万円

決算額 35億2,110万円

執行率 87.9%

公債費、災害復旧費、予備費など

大洲市の特別会計

特別会計とは、ある特定の事業を行う場合に一般会計とは区別して、歳入や歳出などの経理処理をするものをいいます。

また、特別会計を新たに設けたり、廃止するときには、条例で規定しなければなりません。

1 国民健康保険

予 算	54億6,332万円
収 入	55億2,576万円
支 出	52億4,415万円
差引額	2億8,161万円

国民健康保険制度は、病気やケガをした時に病院に支払う診療費の一部を負担することによって自己負担を軽くするための社会保険です。自営業者や会社を退職した人などが加入しています。

加入者が納付した保険税などの収入や医療費の支払いなどを管理するための会計です。

2 国民健康保険診療所

予 算	1億0,382万円
収 入	9,113万円
支 出	8,945万円
差引額	168万円

河辺診療所を運営するため、個人が納付した医療費や診療報酬などの収入や、医師や看護師の人件費、医薬品や医療機器の支払いなどを管理するための会計です。

3 後期高齢者医療

予 算	6億7,338万円
収 入	6億7,519万円
支 出	6億4,924万円
差引額	2,595万円

後期高齢者医療制度は、平成20年4月1日から開始しました。75歳以上の人と65歳以上で一定の障がいのある人を対象にした医療制度です。

加入者が納付した保険料などの収入や、制度の運営をしている後期高齢者医療広域連合（都道府県単位に設置）への負担金などの支払を管理するための会計です。

4 介護保険（介護保険事業勘定・介護サービス事業勘定）

予 算	56億2,227万円
収 入	54億3,996万円
支 出	53億6,509万円
差引額	7,487万円

介護保険制度は、介護を必要としている人が日常生活を送るために訪問サービスや施設サービスを受けることができるよう、社会全体で支える仕組みとして導入されている制度です。

加入者が納付した保険料などの収入や保険給付費などの支払いを管理するための会計です。

5 飲料水供給事業

予 算	3,921万円
収 入	3,351万円
支 出	3,351万円
差引額	0円

飲料水供給事業は、給水人口が50人から100人までの飲料水供給施設と、10人から49人までの共同給水施設で水を供給しています。

使用者からの使用料収入や、水道施設の維持管理や施設整備にかかる支払を管理するための会計です。

6 港湾施設事業

予 算	1,053万円
収 入	965万円
支 出	965万円
差引額	0円

港湾センター(大洲市長浜)の施設使用料などの収入や、施設の維持管理にかかる支払いなどを管理するための会計です。

7 土地取得造成

予 算	20万円
収 入	0円
支 出	0円
差引額	0円

公共事業として必要な土地を購入するための費用や、その用地費用を準備するために借り入れる地方債の元利償還金などを管理するための会計です。

収入は一般会計からの繰入金が主なものです。

8 農業集落排水事業

予 算	2,015万円
収 入	1,770万円
支 出	1,770万円
差引額	0円

八多喜地区において供用している農業集落排水施設(生活雑排水を処理して川にもどす農村地域における下水道)の、使用者からの使用料の収入や、施設管理や借入金の返済などの支払を管理するための会計です。

9 温泉事業

予 算	884万円
収 入	555万円
支 出	555万円
差引額	0円

大洲市少彦名温泉の温泉水使用料や、施設の貸付料などの収入、施設の管理や借入金の返済などの支払を管理するための会計です。

大洲市の企業会計

企業会計とは、公共の利益を目的として経営する企業にかかる会計のことです。
大洲市では、水道事業、工業用水道事業、下水道事業、病院事業があります。

水道事業会計

総収益	10億4,161万円
総費用	10億0,318万円
当期純利益	3,843万円

飲料水供給事業以外の水道事業を運営するための会計です。

給水人口	37,131人
年間配水量	6,041千m ³
年間有収水量	4,462千m ³

工業用水道事業会計

総収益	2,145万円
総費用	2,145万円
当期純利益	0円

工場や事業所などの限定した雑用水を供給する工業用水道事業を運営するための会計です。

給水先事業数	2箇所
--------	-----

下水道事業会計

総収益	5億6,503万円
総費用	5億6,503万円
当期純利益	0円

農業集落排水事業以外の下水道事業を運営するための会計です。

処理区域内人口	8,260人
処理水量	669,976m ³ (一日平均1,809m ³)

病院事業会計

総収益	32億4,942万円
総費用	31億6,701万円
当期純利益	8,241万円

市立大洲病院を運営するための会計です。

病床数（一般・結核）	150床
延入院患者数	26,447人
延外来患者数	72,851人